

| | |
|------|--------------------------|
| 基本目標 | 安全で快適な魅力あるまちづくり【都市基盤・安全】 |
| 施策名 | 公共交通 |

バランスのとれた地域の公共交通体系の確立にむけて、市民、交通事業者、関係機関などとの連携を通じて、鉄道やバスの利用促進を図るとともに、利便性の高い公共交通網の形成や公共交通空白地域の解消などの取組を推進します。

施策が目指す蒲郡市の将来の姿

- 子どもや高齢者らが安心して移動することのできる公共交通体系が確立されています。
- 地域で創り、守り、育てあげる持続性の高い公共交通体系が形成されています。

◆具体化した施策の取り組み実績

1 協議会と連携計画の策定

| 項目 | 平成24年度実績 | 平成25年度実績 | 平成26年度計画 |
|-------------------|----------|----------|----------|
| 公共交通基礎調査 | 実施 | — | — |
| 蒲郡市地域公共交通会議の設置 | 実施 | 会議実施 | 会議実施 |
| 蒲郡市地域公共交通総合連携計画策定 | — | 実施 | 計画実行 |

2 公共交通の利用促進

| 項目 | 平成24年度実績 | 平成25年度実績 | 平成26年度計画 |
|-----------------------|----------|----------|----------|
| 名鉄西尾・蒲郡線の利用実績(千人) | 3,120 | 3,242 | 3,186 |
| 塩津駅前広場整備事業 | 整備工事発注施工 | 整備工事完了 | 事業終了 |
| 名鉄バス東部市単独補助路線利用実績(千人) | 176 | 212 | 215 |

3 交通不便地域の対策

| 項目 | 平成24年度実績 | 平成25年度実績 | 平成26年度計画 |
|------------|----------|----------|----------|
| タクシーチケット発行 | 3,390人 | 3,506人 | 3,700人 |
| | | | |
| | | | |

◆評価指標

| 指標名 | 区分 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 将来目標 |
|----------------------|-----|--------|--------|--------|--------|
| 名鉄西尾・蒲郡線 利用目標及び実績 | 目標値 | 3,187 | 3,153 | 3,186 | 3,219 |
| | 実績値 | 3,120 | 3,242 | | 平成32年度 |
| 交通結節機能を高める | 目標値 | 50% | 100% | 100% | 100% |
| | 実績値 | 58% | 100% | | 平成32年度 |
| チケット利用者率 | 目標値 | 75.0% | 75.0% | 75.0% | 90.0% |
| | 実績値 | 72.4% | 71.9% | | 平成32年度 |

◆指標の説明・考え方

| 指標名 | 説明・考え方 |
|------------------|--------------------------------------|
| 名鉄西尾・蒲郡線利用目標及び実績 | 名鉄西尾蒲郡線活性化協議会による名鉄の利用目標を策定。 |
| 交通結節機能を高める | JR・名鉄の利用者への駐輪場や駅前広場の改修を行い駅の付加価値を高める。 |
| チケット利用者率 | チケット利用者数÷チケット発行者数×100 |

◆指標の分析

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・蒲郡市、西尾市及び愛知県による利用促進施策の実施 ・市民まるごと赤い電車応援団(蒲郡市)、にしがま応援団(西尾市)による利用促進の実施 ・名古屋鉄道株式会社による利用促進策の実施 ・現在の駅前広場を800㎡から3,640㎡に拡張し、駅への進入路をW=21.5m(車道W=7.0m、歩道W=7.25m、延長L=120m)とし、利用者の利便性を良くする。 ・タクシーチケットを受け取るだけで、利用されない方が約3割弱存在する。 |
|--|

◆今後の方針

| |
|--|
| <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進PRに努めるものの、利用実績が伸びない。 ・応援団へ利用促進を依頼するものの、イベントが多く関係者の負担が増加 ・市職員をはじめ、沿線企業へ通勤による定期券の購入のお願い。 ・名鉄側のインフラ未整備(磁気カードの未導入)によるウォーキングイベントの開催が難しい。 ・駅利用者が急激に増大した場合、バリアフリー化が必要となる。 ・年々、チケット配布対象者(70歳以上)が増加するので、事業見直しの必要性を検討する。また、受け取った方には、利用を促す方策を考える。 |
|--|

| |
|---|
| <p>今後の施策展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した利用実績の確保のための、定期利用者の推進。 ・大型イベントの実施による利用者数の増加を図るなど、名鉄存続の一層のPRの実施。 ・市内公共施設など、名鉄利用者への特典企画の実施。 ・バリアフリー化が必要となったときについては、JR及び名鉄との協議を行い、予算措置をしていく。 ・平成26年度のフィーダー路線の実験的導入に向けて、準備を進めていく。また、既存の路線バスのルート・ダイヤ等について再確認し、事業見直しの必要性を検討する。 |
|---|

| | | |
|------|-----------|--|
| 課長評価 | 構成事業の進捗状況 | B: おおむね計画どおり進行している。 |
| | 施策の進め方 | B: 一部見直しが必要である。 |
| | コメント | 平成25年度末、住民アンケート、地域でのグループヒアリングなどの調査事業をもとに、蒲郡市地域公共交通総合連携計画が策定された。今後は、既存の公共交通である名鉄電車、路線バス、タクシーを維持しつつ、公共交通の将来像の実現を図っていきたい。 |

| | | |
|------|---------|---|
| 部長評価 | 施策の進捗状況 | A: 目指す将来像実現に向けて順調に進行している。 |
| | コメント | 平成25年度1年間かけて「公共交通総合連携計画」を策定した。同計画は7年計画となっており、初年度、平成26年度は、形原地区におけるコミュニティバスの運行と既存の名鉄バス東部の路線等の見直しを行い、平成27年度から実施することになっている。今後も同計画に基づき、蒲郡市の公共交通施策を展開していくこととしている。 |

施策に属する事務事業一覧

| 総合計画 | 所管課 | 番号 | 事業名 | 人件費を除く事業費(千円) | 人件費(千円) | 人工 | 総合評価 | 事業の種類別 | 市長マニフェスト | 実施計画 |
|------|-------|-----|------------|---------------|---------|------|------|--------|----------|------|
| 3-2 | 企画広報課 | 17 | 地域開発事業 | 105,189 | 11,122 | 1.60 | A | カ | 4 | ○ |
| 3-2 | 安全安心課 | 104 | 地域公共交通事業 | 39,155 | 5,468 | 1.00 | B | カ | 4 | ○ |
| 3-2 | 安全安心課 | 107 | 高齢者の足確保事業 | 15,593 | 2,562 | 0.60 | B | カ | 4 | ○ |
| 3-2 | 都市計画課 | 372 | 蒲郡駅周辺整備事業 | 8,008 | 8,086 | 1.10 | B | エ | — | ○ |
| 3-2 | 都市計画課 | 373 | 塩津駅前広場整備事業 | 38,609 | 7,964 | 1.10 | B | エ | — | ○ |